

平成 29 年度豊見城市施政方針（教育委員会関連箇所抜粋）

は じ め に

私の公約であります「とみぐすくを日本一楽しく・住みよいまちにする」を実現するため、日々邁進してまいりました。平成 28 年 11 月をもちまして、市長就任 7 年目を迎えることができましたことを皆様に感謝しながら、「夢・目標は諦めず頑張れば必ず叶う」の信条のもと、これからも本市の発展と市民生活の向上に果敢に取り組む決意であります。市民並びに議員各位のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さらに、上田小、ゆたか小合同男子バスケトーボール部と伊良波中学校空手道部が全国大会において優秀な成績を収めるなど、とみぐすくっ子の目覚ましい活躍もありました。

平成 29 年度は、多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応するとともに、将来にわたり活力ある地域に発展・維持していくための中長期的な施策・事業に取り組み、市民生活の向上に向けて全力を尽くしてまいります。さらに、西海岸地域の地理的優位性をいかした企業誘致や観光関連産業の活性化を促進させるとともに、引き続き地方創生事業や沖縄振興特別推進交付金事業等を積極的に活用し、「ひと・そら・みどりがつなぐ響むまちとみぐすく」を実現するために、市政運営に邁進してまいります。

協働と交流によるまちづくり

はじめに、「協働と交流によるまちづくり」についてでございます。

市民相互の交流促進につきましては、「とみぐすく祭り」、「生涯学習フェスティバル」、「全沖縄子どもエイサーまつり」を開催してまいります。とみぐすく祭りは、本市の一大イベントとなっており、幅広い年代の方々に楽しんでいただく交流の場としてのみならず、本市の魅力を県内外に発信できるよう努めてまいります。

県外交流の推進につきましては、三姉妹都市との交流を軸に取り組んでまいります。平成 29 年度は、8 月に宮崎県美郷町において開催される「第 30 回うなま地蔵夏祭り」に参加し、交流の推進に取り組んでまいります。

国際交流の推進につきましては、〈中略〉市内中学生をアメリカ合衆国ハワイ州へ派遣する「豊見城市青少年国際交流事業」を実施しグローバルな人材育成に努めてまいります。

人権意識の普及につきましては、人権擁護委員及び那覇地方法務局と連携し人権意識の普及啓発に努めてまいります。

また、教育関連施設などにおいて、人権擁護に関わる啓発・教育活動を展開するとともに、関係機関等との連携の強化

に努めてまいります。

平和行政の推進につきましては、〈中略〉

また、本市と広島県大竹市の中学生が、平和の大切さや生命の尊さを共に学ぶ平和交流を実施し、青少年の人材育成に努めてまいります。

子どもが生きる学びと文化のまちづくり

次に、「子どもが生きる学びと文化のまちづくり」についてであります。

幼稚園教育につきましては、園児に基本的な生活習慣や健康・体力の育成、自主・自律の精神及び規範意識の育成に努めてまいります。

平成27年4月から施行された「子ども・子育て支援新制度」にともない、幼稚園における保育の拡充や認定子ども園の検討などに取り組んでまいります。

また、座安幼稚園・豊見城幼稚園・とよみ幼稚園・ゆたか幼稚園で、4歳児保育を継続実施し、新たに豊崎幼稚園においても4歳児保育を実施してまいります。さらに、座安幼稚園・豊見城幼稚園においては、新たに3歳児からの複数年保育に取り組んでまいります。

幼稚園の施設整備につきましては、平成28年度から着手しております上田幼稚園改築事業において、園舎工事の進捗を図るとともに、外構工事にも取り組んでまいります。

預かり保育につきましては、保育を必

要とする全園児の受け入れや早朝保育受け入れ及び土曜日預かり保育を実施してまいります。

さらに、小学校と幼稚園・保育所の連携による「接続期カリキュラム」の拡充に取り組んでまいります。

義務教育の充実につきましては、沖縄県の学力向上主要施策「学力向上推進プロジェクト」と連携した諸施策に取り組んでまいります。

特に、学習を支える生活リズムの確立が重要になることから「早寝・早起き・朝ご飯」と「てくてく登校」の推進に努めてまいります。

また、市教育委員会指定の「授業改善に係る指導方法工夫改善研究指定校」事業により、実践的な学習指導方法の工夫・改善等に取り組んでまいります。

情報教育の推進につきましては、市教育委員会指定の「情報教育研究指定校」事業をとおして、教職員のICTを活用した指導力向上を図ってまいります。

外国語教育につきましては、授業の充実を図る観点から小学校に1名、中学校に3名のALTを継続して派遣してまいります。また、「中学生イングリッシュ・サマースクール」、「英語ストーリーコンテスト」と「市青少年国際交流事業」を有機的に連携させ、中学生の外国語力向上を図ってまいります。

さらに、地域の歴史や文化を大切に育てる心を育むことや健全育成の観点から、空手講師を派遣して、沖縄の伝統文化である空手を演武できる児童生徒を輩出してまいります。

教育施設整備につきましては、上田小学校改築事業にかかる校舎棟の建設工事

及び外構工事を行うとともに、豊見城中学校改築事業にかかる設計業務を完了させ、体育館及び普通教室棟の建設工事に取り組んでまいります。

また、暑くて授業に支障をきたすおそれのある教室へのクーラー設置を行うとともに、消防設備や電気設備の点検、維持修繕を行い、児童生徒の安全と教育環境の改善に努めてまいります。

学校給食につきましては、市内産野菜を最大限活用した地産地消を実施するとともに、安全・安心な食材の確保及び沖縄の郷土食や行事食も取り入れた栄養バランスの取れたおいしい給食の提供に努めてまいります。

また、食育推進事業につきましては、学校等と連携を密にし、給食センター見学の奨励や学校における食育授業の実施等で指導の充実に努めてまいります。

障がいのある園児、児童生徒への特別支援教育につきましては、園児、児童生徒一人ひとりに合った特別支援教育を行うため、必要に応じて特別支援教育支援員を配置してまいります。

心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的な要因・背景による不登校児童生徒が通う「市適応指導教室」につきましては、学校との緊密な連携によって、通室する児童生徒の学習意欲の向上と登校復帰を支援してまいります。

指導上配慮を要する児童生徒に対する支援につきましては、スクールソーシャルワーカー及び自立支援教室指導員を学校へ派遣し、児童生徒の問題行動の解消と未然防止に努めてまいります。

いじめ等の問題につきましては、いじめ等の起こりにくい学校づくりを推進するとともに、各種相談員との連携強化による教育相談体制の充実と定期的なアン

ケート調査の実施で、いじめ等の未然防止、早期発見・早期解決に努めてまいります。

就学援助事業につきましては、生活保護世帯に準ずる程度に経済的に困窮している世帯で、就学が困難と認められる保護者に対し、学用品費等の就学上必要な経費を援助してまいります。

また、経済的に困窮している世帯に対し、沖縄県の制度を活用し、給食費援助の拡充を行ってまいります。

育英会事業につきましては、経済的理由により修学が困難な学生に対し、学資貸与を行うとともに、新たに入学準備金制度を導入し支援の充実に努めてまいります。

また、生活保護世帯の学生を支援するため、給付型奨学金の検討を行ってまいります。

次に、子育て環境の充実にあります。

平成27年3月に策定した「豊見城市子ども・子育て支援事業計画」において、「ニーズに対応した教育・保育事業や子育て支援体制の整備」及び「教育・保育の量の確保と質の向上」を目指し、「保育コンシェルジュ」を配置し保護者への支援充実に努めてまいります。

放課後等における児童の居場所づくりにつきましては、放課後児童クラブへの支援を実施し、質の向上を図ってまいります。

次に、地域文化の振興についてであります。

歴史的・文化的資源の保全・継承に関する取り組みにつきましては、旧豊見城城址公園地内において文化観光創出事業及び工芸の杜（仮称）建設に伴う豊見城グスク範囲確認調査を実施してまいりま

す。

文化振興事業につきましては、市文化協会が主催する「総合文化祭」をはじめ、しまくとぅばの普及促進を目的として毎年行われる「しまくとぅば子ども教室」などの文化イベント活動を支援してまいります。

文化財の保護につきましては、真玉橋遺構など市指定文化財の適切な保安全管理に努めるとともに、「文化財標柱」の整備設置や、「史跡めぐり」などの開催をとおして、地域に残された貴重な文化財への関心並びに保護意識を高め、あわせて地域学習や観光振興などへ幅広く活用してまいります。

文化事業の実施と関連施設の充実につきましては、歴史民俗資料展示室の充実に取り組み、市内各学校の総合学習をはじめ、市民の生涯学習の場として企画展や文化講座を開催してまいります。また、「組踊学校鑑賞会」を開催し、ユネスコの無形文化遺産である「組踊」に接する機会を通じて児童生徒の郷土文化への関心を高めてまいります。

また、沖縄戦終結から70年余の歳月が経過し、戦争を体験した人々から直接証言を聞くことが困難な状況となりつつある中、戦中、戦後の体験を映像資料として残しあらゆる戦争に反対する思いを次世代に正しく継承していくため「戦争体験等映像化事業」に取り組んでまいります。

市史の編集事業につきましては、市内における戦前から今日までの教育・文化等の歴史や終戦直後の社会の歩みと、本土復帰前後の産業・経済の変化を浮かび上がらせ、多角的な視点から『社会と文化・教育編』の編集作業に取り組んでまいります。

次に、生涯学習体制の充実につきましては、市民の生涯学習ニーズの高まりや多様化に応えるため、関係団体や事業者と連携を図り、学習内容の充実に努めてまいります。

また、生涯学習の拠点施設となる中央公民館は、市民が安全・安心に利用できるよう施設運営に努めてまいります。

中央図書館につきましては、市民のニーズに応える図書資料の厳選・充実を目指すとともに、読書習慣の定着に向けた魅力的な行事への取り組みに努めてまいります。

また、開館時から稼働しているクーラーや照明器具を入れ替えるとともに、新たに授乳室の整備を行い、快適な環境を整え市民が利用しやすい施設運営に努めてまいります。

多彩な生涯学習プログラムの提供につきましては、市民のニーズを把握し、多くの市民が受講しやすい公民館講座を実施してまいります。

また、自治会公民館と連携を図り、地域のニーズに応えた「移動公民館講座」を開講し、地域活性化の一役を担ってまいります。

子どもが健やかに育まれる地域環境づくりにつきましては、子どもが安全・安心かつ健やかに育まれる環境づくりのため、「学校支援地域本部事業」や「放課後子ども教室推進事業」を実施し、文化活動や交流活動など多様な体験学習の提供に努めてまいります。

共助でつくる健康文化と福祉のまちづくり

スポーツ施設の維持・充実につきましては、市民の利便性やサービスの向上に努め、質の高い施設運営を行ってまいります。また、新たに豊崎海浜公園のテニスコートを供用開始してまいります。さらに、豊見城総合公園陸上競技場の機能強化に向け関係機関と連携し取り組むとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする日本代表の強化合宿誘致に取り組んでまいります。

スポーツ事業の実施につきましては、「児童生徒オリンピック大会」、「新春健康マラソン・ウォーキング大会」を開催するとともに、各種スポーツ教室などをおして市民の健康づくり及び児童生徒を育成する指導者の資質や技能の向上を図ってまいります。

スポーツ関連団体と指導者の育成支援につきましては、新たにNPO法人豊見城市体育協会へ職員派遣を行い、活動を支援するとともに、5年に1度の先島地区開催となる県民体育大会においては、多くの選手を派遣できるよう支援を行い、本市のスポーツ文化の発展及び青少年の健全育成に努めてまいります。

また、児童生徒派遣費補助事業の継続実施により、児童生徒の健全育成を支援してまいります。

持続可能な環境と安全・安心のまちづくり

地域特性を活かした産業創造のまちづくり

都市とみどりが調和するまちづくり

計画の推進のために

おわりに

平成29年度の市政運営に関する所信の一端と諸施策について申し述べてまいりました〈中略〉

平成29年度予算では、歳入の大幅増を見込むことができないなか、歳出では、上田幼稚園・小学校、豊見城中学校改築事業、道路整備事業、市役所新庁舎及び消防庁舎建設が継続実施されており、また、新たに待機児童解消を目的として、認可保育園の施設整備事業を予定しております。〈中略〉

「とみぐすくを日本一楽しく・住みよいまちにする」というビジョンを実現するために、第4次総合計画後期基本計画に沿った各種施策・事業に職員ともども一丸となって全力で取り組んでまいります。

市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げまして、私の施政方針といたします

平成29年3月2日
豊見城市長 宜保晴毅